

# Join!

国際理解教育部通信  
第25号  
2016年8月発行



中等部



ようこそ関大へ！

今夏、国立臺灣師範大學  
附屬高級中學から國中部生3  
名、高中部生4名の交換留學  
生を受け入れました。盛り  
だくさんの一週間の様子  
をお届けします！

## 歓送迎会

台湾から7人の留学生と2人の先生方が関西大学中等部、高等部を訪れました。歓迎会は国際交流委員会を中心に行いました。たくさんの生徒が留学生と交流を持つことができました。送別会では授業体験や部活動体験での思い出を話し合い、交流を深めることができました。台湾生だけでなく自分たちもたくさんのことを学ぶことができましたと思います。

(国際交流委員 S1D 中西カノン)



## ホスト生感想

今回、台湾生を受け入れてみてよかったなと思えるような一週間になったと思います。言葉に詰まって話が途切れたらどうしようとも思っていたけれど、意外と一つの話からどんどん話が広がっていきました。Family Dayはいろんな所に行けたし、いろいろ反応してくれるので楽しんでいてくれることがわかりました。はじめにメールなどで何が好きとかどこに行きたいとか言ってくれたので予定も立てやすかったし、本当に楽しかったです。思っていた以上に、たった一週間でもとても仲良くなれました。(J2C 王綾菜)



初めての交換留学で、最初はコミュニケーションがとれるかとても不安でしたが、台湾生が優しくゆっくり、僕がわかるまで丁寧に話しかけてくれたので、とてもわかりやすかったです。すぐに仲良くなって、会話が楽しくなりました。中国語やChinese yo-yo(扯鈴, Diabolo)もたくさん教えてもらいました。1週間と短い期間でしたが、とても仲良くなり、一生の大切な友達に出会える事ができました。(J2B 木谷優太)



授業中は私の隣の席で受けていました。授業では、濱島先生が英語や台湾語を喋ってくださり、Hannaちゃんも授業に参加出来て楽しそうでした。Family dayは、台湾生みんなでUSJに行ったり、浴衣を着てなんばを散策して舟ののったり、ショッピングをしました。金魚がきれいなアクアミュージアムに行ったりして、興味津々な様子でした。毎日very tiredと言いながらも、楽しんでくれていました。ホームシックにもならなくて家族にも溶け込んでくれていて、とても安心しました。(J2A 金谷彩花)



## プレゼンテーション

全体集会では、台湾生は英語を用いて、在学している台湾の学校についてのプレゼンを行いました。7人の台湾生は一人ずつでのプレゼンでしたが大勢の前でも緊張することなく、プレゼンを終えていました。中等部生、高等部生はプレゼンに熱心に耳を傾けていたため、台湾生に関心があることが伺えました。学年に関係無く台湾のことを少しでも知れる機会だったので、とても新鮮で楽しかったです。

(国際交流委員 S1D 沼田 零)



## 給食体験

最初はとても話しづらかったのですが、台湾生が話しかけてくれたので話しやすくなりました。みんなで一緒に楽しく食事をするのができて、とてもいい経験になりました。

(国際交流委員 J2B 北のどか)



## 高等部

## ホスト生感想

私はホームステイに行ったことはあったけれど、受け入れは初めてでした。“おもてなし”はとても大変なことも多かったですが、楽しんでもらえたとし、自分も楽しめました。ファミリーデーも京都、大阪、USJ、姫路など、いろいろなところにたくさん行くことができました。

(S2B 稲垣萌)



台湾ですごく歓迎してもらったので、クラスのみannaにも協力してもらってお返しのできたらいいなと思っていて、同じぐらい歓迎できたかはわからないけど、とても楽しい日々を送ることができました。ファミリーデーや放課後もいるんなところに行って、毎日フラフラになって帰ってきたりもしましたが、1週間の間にできるだけのことはできたかなと思います。普段の学校生活では学べないことも、この交換留学でたくさん学ぶことができました。

(S2C 伊坂 恵里奈)



次号はイギリス  
研修、ハワイ研  
修特集です。  
お楽しみに！



## 夏の国際交流イベント



6月8日、台湾桃園市立青埔國民中學から中学生33名、教員5名が来校しました。J2は体育の授業やクイズなどの交流の時間を楽しみ、給食の時間はJ3も一緒に交流のひとつきを持ちました。半日という限られた時間でしたが、このような小さな関わりが、国際的視野を広げる第一歩になるのかもしれない。